

## 〈ビデオ鑑賞及びグループディスカッション〉

### ビデオを鑑賞されて、何でも結構ですからご意見を聞かせてください

- ・ 私は動揺型ですごく頼りない親だと思いました。もっと子どもと感情的にならず、怒る時も根性があると思った。
- ・ 子どもを変えようと思えば、先ず親が変わらなければと思いました。
- ・ 時代は変わっても人の心と心の結びつきは人の為に生きる精神で円滑にいくような気がする。
- ・ 親の考えや叱り方など、考え直すことができました。
- ・ 子どもを信じること、人を信じることを学びました。もう少し子どもを“待ってあげよう”と思いました。
- ・ 良かったとは思いますが、ビデオが時間的に少し長いのではないかと思いました。グループディスカッションについては初対面の人でなかなか難しかったです。
- ・ 子どもを信じて待つことの大切さを気づかせてもらえました。いつの間にか親(私)の時間、私の考え、都合に子どもを合わせさせていたようです。
- ・ 少し時間が長いのですが、ビデオの内容は良かったです。なかなかビデオの中のような“大人”になれないですが・・・今回、グループディスカッションがあり、知らない方々ともお話が出来て良かったです。
- ・ “子どもの修行は親の修行でもある”という言葉が心に響きました。子どもを育てるのは親だけでなく、周りの人にも育ててもらっているのだなぁと感じました。よその子には甘い言葉を掛けるのが、“優しさ”と思っていましたが、その子のことを考えていけないことはハッキリ言うのが本当の優しさなのだと教えられました。子どもは大勢の人たちのお陰で一人前になっていくのだなぁと感じました。結果を焦らず、最後までやり遂げる姿を見守っていきたいと思います。
- ・ 子どもに対する優しさ、厳しさを間違えていたなと思いました。手を出さず見守っていくということをしていきたいと思います。
- ・ 途中、ビデオに参加して“だいちゃん”を怒ってやろうか!とも思ったけど、最後、人の家の鍋蓋を捨てずに磨いた所では涙が出ました。良かったです。
- ・ 初顔合わせでディスカッションは難しかったです。
- ・ 子どもにもビデオを見せたかったです。
- ・ 時代感覚と共に現状には合わせる事が出来ず共、親子、地域の方々関係は変わらぬものです。100kmの旅そのものだと思います。
- ・ 仕事の方面から出なく親子等人間関係の方から見たので、すごく良かった。映画を見て感じた時は針がプラスに振れるが、日常生活の中でだんだんとマイナスに戻ってしまう。
- ・ 印象的だった言葉は“子育ては親の大修行”という言葉で、全くその通りだと思います。今まさに実感しているところです。子どものことをあーだ、こーだと言う前に親として自分自身を見つめ直さなければならぬと感じています。
- ・ 両親、祖母の辛抱強く“見守る”姿勢を見習いたいと思いました。地域の一員として勇気を持って近所の子どもさんや子どもの友だちにも自分の子と同じような気持ちで接していきたいと思った。
- ・ 子どもの成長を見守ることの大切さを改めて学ぶことが出来ました。
- ・ 子育てをしながら親育ちもしっかりしていこうと思いました。

- ・ 待てる親になりたいです。子どもだけに頑張らせない、見守れる親になりたいです。
- ・ 子どもの成長を期待した拒絶、叱ることの重要性を認識しました。
- ・ てんびんの詩のビデオを観て親としての心構え、あるべき姿を改めて実感した。
- ・ ビデオ鑑賞とセミナーの時間を少なくしてグループディスカッションをもっと多く取った方がいいと思います。いろいろと情報交換が出来ました。
- ・ 商売だけでなく親子関係、地域との関わりをもう一度考えさせられました。
- ・ グループディスカッションは保護者同士の交流がありとても楽しい時間でした。子どもだけでなく親の交流も深まるのがとても大切だと思いました。
- ・ まだまだ自分は甘い！本当に子どもにとって為になることを見極めなくてはならないと思う。
- ・ 子どもに対して厳しく接していても私だったら途中で子ども可愛さに負けてしまうかもしれないと思い、そんな時親が頑張らないと子どもはもっと頑張れないなあとつくづく感じました。
- ・ グループディスカッションは他の方とコミュニケーションが取れて良かったです。
- ・ 子離れ
- ・ 待つことの大切さを知りました。
- ・ 商いの道が今回の100km徒歩の旅の道と重なっているのではと思いました。時代は違いますが思いは同じ人の道を外れては生きてはいけませんと思いました。
- ・ 親はあまりガミガミ言わなくても子どもは大きくなるのだと思いました。
- ・ 親は子どものことを気に掛けながらも厳しく教えないといけないこともある。親離れ子離れについて考えさせられました。
- ・ 時代は違っても母の想いは同じだと感じられました。何事も勉強だなあと感じました。
- ・ 子どもたちにも見せたら何か心に響くかもしれない。
- ・ ビデオのような親でいれるのは理想だとは思いますが、現実はいざ口を出してしまうので気づいた時に気づいたことから直していければと思いました。
- ・ 感動した。子どもを信じ見守る、待つことの大切さを改めて感じさせられた。(忍耐のいることですよ)
- ・ 大人になった“だいちゃん”が言っていた言葉で“一人では生きていけない”らしきことを言っていたが、この世の中、なかなか人との関わりは難しい所もありますが、とても大事なことだと思います。
- ・ ビデオの趣旨が最初?であったけれど、最後まで見ていると感動してしまって、とても羨ましく(地域の力、大人の大人としての態度)思えました。
- ・ 正直言って時代背景が違うと思うのですが、それでも優しさの形というのが覆き違えている部分を多いいに感じさせられました。待てない自分というものも反省させられました。
- ・ 何事も教えるのではなく、子ども自身が経験をしているいろいろな人との出会いの中で気づいて学んで行くことが大切だと思いました。
- ・ 時代が少し違いますが、子どもにも見せたいと思いました。
- ・ 頭では分かっているけど難しいと思います。
- ・ 子どもが結果を出せるまで親も腰をすえてじっくり待つことの大切さに気づかされました。“時間に追われているせいもあり、つい手を貸してしまう”それでは、子どもの為にならないんだなと思いました。
- ・ 先々心配ばかりしている私。信用する(愛する)ことの大事さが改めて解り、反省だらけでした。
- ・ 子どもを信じ見守ることの大切さがすごく伝わりましたが、少し時代が古いので、もう少し現代の社会に合ったものを見せていただければ、更に日々の子育てに活用していけるのになあと感じました。

- ついつい何事も短いスパンで考え、目先の結果が出たくて手も口も多く使っていたなと反省しました。もっと長い目で子どもの成長を見守っていきたくて思いました。
- てんびんの詩は会社でも社員教育で使っていて何度も見ていました。親の立場で見るとまた違った見方があると教えられました。
- 今の時代だからこそ、こういう作品が必要なのかな、と・・・
- 小さい時の苦労は買ってでもしろ、と言うようにその時にはしんどくて辛いことでも長い目で見たら、それが一番身に付くことなんだな、と思いました。そのためには先ず親が子どもを信頼して待つてあげ、子離れをしなくては、と思いました。
- 少し長かったです、良かったです。
- 感情的にならず、親である自分が落ち着いてゆったりと子どもたちを見守り、親として子どもと共に成長したいと思いました。
- 時代が違うので出来ないこともあるけれど、表面的なだけとは違う本当の優しさを子どもたちに伝えられたら良いなと思いました。
- 陰で見守る優しさ、先回りして手助けするのが本当の優しさではなく、自分で考える力を持てるように育てていきたいです。(既に親が口を出し過ぎている・・・反省)
- 子どもに対する接し方が勉強になった。過保護、過干渉にならないようにしなければと思った。
- 親、地域の接し方、大ちゃんのなべふたを売るための試行錯誤など、売るまでの成長を感じました。
- 時代は違いますが、学ぶことはあったと思います。
- 親は我慢が大切だと感じた。
- このビデオを中学生の息子と一緒に見たいです。とても良い内容でした。
- 感動のシーンは成功した時の達成感を味わった時でした。人との触れ合いで心の繋がりが持てた時、感動しました。
- とても良かったです。
- ビデオは商売についてでしたが、これから生きていく子どもたちにとって、何にでも共通することでした。人の道に背くことはしない。人の役に立つ。相手の立場になる。本当にそうだと思います。是非、子どもにも見せたい。
- かわいい子に旅をさせるのは、親にとっても子どもにとっても辛いけど人生の上でとても大切なことだと思いました。
- 待つ(見守り)の大事さ、子どもを信じる、押し付けない、気をつけたい。
- 親としての接し方、地域での子育て、時代は違いますが良い勉強になりました。
- 最後まで厳しい姿を持ち続けるのは親としても大変だけど、本当の子どもの成長のためには大事だと思った。
- ビデオに出てくる親のような根気、強さが自分には欠けていることに気づかされました。自分の要求ばかりを押し付けて自分は努力すらしてないなあ、と。
- 始めの頃は正直眠気との戦いでしたが、てんびんの詩は感動しました。昔から言います“かわいい子には旅をさせる”という言葉が身に染みて感じさせられました。“子どもの辛抱は親にとっても辛抱”戸と言うセリフになぜか涙がでました。
- 親として考えさせられました。前にも一度見たことがありましたが、感動しました。
- 子どもに言うだけでなく、親自身も子どもを見守る強さが大切だと思った。
- 子どもの成長を待つ大切さ、地域のコミュニケーションの大切さ、がとてもよく分かりました。

- ・ 子どもたちも見たらいいなと思いました。大事なことがいろいろな場面であり良かったです。
- ・ 子どもを信じること、子ども自身に気づかせることが大事であると思いました。
- ・ 日頃から口うるさくガミガミ言ってますが、このビデオを見て、じっと待つという大切さも教えてもらいました。甘やかすだけでなく、厳しく接することも子どものためだと思いました。
- ・ 最初から楽なことは無い、いろいろな苦難があってやり遂げられる、最後まで頑張ることが一番大切です。
- ・ 時代があまりにも違うので今の子育てに対して何とも言えませんが、信じて待つことを分かっているがなかなか実行できませんが、今後努力していきたいと思います。
- ・ 時代が違っているが、昔は全ての大人が子どもに関わっていたと思う。なかなか子どもを見守ることが難しい。
- ・ とても良いビデオでした。苦労知らずで育てているのでいろいろな出来事に出会った時、乗り越えていく力を育てるのは親も子も辛抱することが大事だと思った。